

(公財) 地震予知総合研究振興会
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第17回)

概要報告

1. 日時 平成30年3月8日(木) 13:30~16:30

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	産業技術総合研究所		阿部 信太郎
	東京大学地震研究所	教授	岩崎 貴哉
	長岡技術科学大学	教授	大塚 悟
	防災科学技術研究所	前理事長	岡田 義光
	日本大学	非常勤講師	工藤 一嘉
	東京大学地震研究所	准教授	酒井 慎一
	名古屋大学	教授	鷺谷 威
	東京大学地震研究所	教授	佐藤 比呂志
	防災科学技術研究所		関口 渉次
	東京大学地震研究所	教授	平田 直
顧問	東北大学	名誉教授	大竹 政和
事務局	(公財) 地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. 議第

- (1) 平成29年度の活動報告
- (2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討ー地震波干渉法に基づく地震観測データの解析ー
- (3) 日本海東縁、佐渡海嶺の地殻短縮量

4. 委員会の状況

平成29年度の活動報告として①平成29年度報告書（案）について、②地震活動状況等について、③GPS観測結果等について説明があったのち、観測データの利用法、佐渡海嶺の地盤変状等の幅広い分野における最新の調査研究について話題提供があった。

(1) 平成29年度の活動報告

平成29年度の活動報告が行われた。

- ① 平成29年度報告書（案）について説明が行われ、委員会でその内容が確認された。
- ② 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、トモグラフィ解析結果と震源分布の関係、気象庁による一元化震源との比較等について意見交換が行われた。
- ③ GPS観測結果等について、観測網の維持管理状況、データ処理の状況について説明がなされた。

(2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討ー地震波干渉法に基づく地震観測データの解析ー

長岡平野西縁断層帯周辺を対象領域とし、地震観測網から得られた地震波形記録に地震波干渉法を適用して、地盤構造を検討した結果について紹介された。委員会では、地質構造や反射断面図との対応関係などに関して意見交換が行われた。

(3) 日本海東縁、佐渡海嶺の地殻短縮量

佐渡海嶺を横断する反射断面から、バランス断面法を適用して背斜構造の断面積を積算し、当該地域における地殻短縮量を推定した結果について紹介された。委員会では、3次元的な短縮量、短縮方向、短縮速度などに関して意見交換が行われた。

以 上